

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：33003

学校名：札幌中学校

改訂のポイント

- 自己管理能力の育成と家庭学習の充実。
- 言語活動における生徒一人ひとりの思考の深化。

項目名 項目内容

項目内容の具体

目標

「学ぶ力」の育成に係る
目指す生徒像

- ☆自ら学び、考え、行動する生徒－P(計画)・D(実行)・C(振り返り)・A(工夫)サイクルの習得
- ☆多様な言語活動を豊かに生き生きと行い、他者とのつながりを深め、社会に働きかけられる生徒

「学ぶ力」
成果や課題
に関する

学ぶ意欲

- 【昨年度の具体的な取組】
- ◇課題探究的な学習を取り入れた授業改善。子どもが主体的に学習に取り組む授業づくり。学びの基礎となる「朝の読書」の継続。

- 【成果】
- ⇒授業に意欲的に取り組む姿勢が身についてきた。休み時間にも読書する生徒の姿が多く見られた。
 - *新しく習ったことは、くり返し練習をしている。(↑)59.1%

- 【課題】
- ◇学力に関する実態把握(分析)と意欲を喚起するための適切な評価。
 - *自分にとってどのように勉強するのが良いか分かっている。(↓)65.2%

思考力・
判断力・
表現力等

- 【昨年度の具体的な取組】
- ◇コミュニケーションスキルの向上。各教科及び特別活動、「キャリア学習」「朝のスピーチ」等における言語活動の充実。

- 【成果】
- ⇒支持的風土の醸成は概ね達成された。キャリア学習の取組が定着し、意欲的な取組が実践された。
 - *習ったことや知っていることを使って、自分で考えることが大事だと思う。(↑)93.4%

- 【課題】
- ◇基礎的読解力の習得。表現力・応用力を身に付けるための具体的方策。
 - *授業中、自分の意見を進んで発言している。(↓)33.5%

基礎的・
基本的な
知識及び技能

- 【昨年度の具体的な取組】
- ◇家庭学習習慣の定着を図る取組。「分かる」「できる」指導の充実。予習・復習など、家庭学習の充実に向けた手帳の活用。

- 【成果】
- ⇒手帳を活用することで、家庭学習(日常・テスト期間)の状況把握と指導に生かすことができた。
 - *勉強で、同じ間違いをくり返さないように、気を付けている。(↑)88.1%

- 【課題】
- ◇基礎的・基本的な学習内容の定着を図るための具体的方策。
 - *分からないことは、分かるまで努力するようにしている。(↓)74.9%

今年
改訂の
案(具
体的
取組)

取組の最重点

【取組の共有】

さまざまな言語活動を通して、生徒一人ひとりが自分の課題を把握し、解決する力を定着させる。

具体的な
改善策
(取組)

- 「分かる」「できる」「楽しい」授業の構築。授業改善及び家庭学習の定着を図るための工夫。
- コンピュータ、タブレットなどのICT機器の積極的な活用。施設・設備の有効活用。
- 自己管理能力の育成。スコラ・ライト手帳の活用による家庭学習の充実と、生徒・教師間のコミュニケーションの充実。
- 基礎・基本の定着。チームティーチング、少人数(習熟度別)指導による個に応じた学習指導の充実。

検
方証
法の

各種調査や
子どもの自己
評価指標の
活用

- 全国学力・学習状況調査、観点・領域別達成度検査(WAT)の分析と活用。
- スコラ・ライト手帳(NOLTY)効果測定(分析)と活用。
- 札幌市全体の共通指標(子どもの自己評価)の分析と活用。